

目標達成計画

事業所名 グループホーム桜香

作成日： 令和 5 年 1 月 10 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	35	【災害対策】 当ホームの立地は、高台にあり洪水などの災害は考えにくい。想定される災害として、有珠山の噴火や何らかの災害による停電などでのライフラインの寸断が主である。そのことを踏まえた災害計画は策定済みであるが、備蓄などの体制やすべての職員の意識付けが今後の課題とされている。	計画的な備蓄体制(消費期限や備蓄量の確認)や職員の状況(災害時の勤務の不可:扶養家族の状況など)を明確にし、常に有効であるように構築する。	備蓄スペースの確保。チェックリストの作成。職員への聞き取り調査。これらを次回の避難訓練までに行い、避難訓練に活かす。	5か月
2	13	【職員を育てる取り組み】 認知症高齢者は一様ではなく10人10色である。専門職としての知識や技術にはマニュアルがなく、日々が学びである。	従事する職員が、当施設が認知症対応型の地域密着型の生活支援の施設であることの意味や、認知症高齢者の心理状態等を知り、専門職としての学ぶ姿勢を身に着けよりスキルアップできるような事業所を目指したい。	定期的な事例検討会(実際にあった事例を通して)を継続的に行う。	継続的に行う
3	4	【運営推進会議を活かした取組】 コロナ禍に入り、運営推進会議は書面としているため、アンケートや意見収集には努めているものの一方通行を免れない状況にある。	感染予防の上運営推進会議を開催する。	扉を開放できる季節になってから、広くなった面会室にて運営推進会議を行い、継続する。コロナ禍が続いた場合には、冬季は書面とし夏場は開催とする。	6か月
4	26	【チームでつくる介護計画とモニタリング】 新型コロナウイルス感染によりご家族の面会が制限されているとともに、職員とご家族のコミュニケーションの場も制限されていた。ご本人ご家族の思いの把握が希薄となっていた。	新しくなった面会室を有効活用し、ご本人やご家族の思いを把握し介護計画に反映させる。	ご家族の面会時には介護計画の説明に加え、希望や思いを聞き取り、話し合って介護計画をよりご本人ご家族の希望に沿った内容にする。	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。